

犬猫から人に感染する病気対策シンポ

主催 社東京家庭動物愛護協会

Zoonosis は世界中にみられる疾病で、200 種以上はあります。犬猫からの感染は狂犬病、レプトスピラ症、トキソプラズマ症、パスツレラ症、Q 熱、猫引っかき病、犬ブルセラ症、カプノサイトファーガ感染症、回虫症、カイセンなど、主なものでも数十種あります。

家庭動物(犬猫)を飼育する人は以前に比べ増加しており、それも室内飼育が主になり犬猫と密接な関係になっています。犬猫の本来の生態や行動を学ばず、予防や治療もせず正しい接し方を実施していない飼主が近年多く認められます。

万一犬や猫に咬まれたり、引っ掻かれた場合、早急に適切な医療を受けない場合人の重症例が認められます。また、慢性化する疾患も解ってきました。これらの対応法を人、動物、環境等の健康維持が大切と考える認識(One Health)のもとに各専門家に問題点・対策などについて話していただきます。

犬猫の飼主、動物取扱業、獣医師、動物看護師、ペット業界、医療関係者や行政の方々にぜひ参加していただき、人と動物が安全に安心して楽しく生活できる社会作りを目指しシンポを企画致しました。

日時 2011 年 1 月 19 日(水曜日) 午後 1 時 20 分～午後 4 時 30 分

場所 日本大学 日大会館 大講堂 (地下鉄 市ヶ谷駅より 1 分)

- 内容・講師
1. Zoonosis とは <<現状とペットの咬・搔傷に起因する感染症と具体的予防法>>
荒島 康友 (日本大学医学部臨床検査医学系臨床検査医学分野助教・獣医師)
 2. 咬傷や引っ掻き傷等の防止法とは <<家庭犬の生態、行動から解りやすい正しい飼い方>>
藤井 聡 (株オールドッグセンター専務取締役・JKC 公認訓練範士)
 3. 最近の Zoonosis の臨床例から <<Q 熱—慢性疲労、うつ症状、登校拒否など>>
矢久保 修嗣 (日本大学医学部内科系臨床検査医学統合和漢医学分野准教授・医師)

座長 坂田 壽衛 (日本大学理事・日本大学大学院 グローバル・ビジネス研究科 教授・医師)

協力 日本大学医学部、Zoonosis 協会、interzoo

後援 環境省、厚生労働省、東京都、神奈川県、日本獣医師会、日本動物病院福祉協会、日本愛玩動物協会、ジャパンケネルクラブ、東京都獣医師会、栃木県獣医師会、神奈川県獣医師会、群馬県獣医師会、埼玉県獣医師会、横浜市獣医師会、川崎市獣医師会、日本動物福祉協会、日本動物愛護協会、日本ペット用品工業会、ペットフード協会、聴導犬普及協会、動物との共生を考える連絡会、優良家庭犬普及協会、狂犬病臨床研究、ペットとの共生推進協議会、全国ペット協会

協賛 日本イーライリリー(株)、ノバルティスアニマルヘルス(株)、バイエル薬品(株)、森久保薬品(株)、日清ペットフード(株)、メリアルジャパン(株)、ファイザー(株)

参加費 会員(協力、後援、協賛)1,000 円 その他 2,000 円 先着 400 名まで

※詳細等は<http://www.t-kateidoubutu.jp>

申込方法 / FAX 042-592-2064

○氏名

○住所

○電話番号

○FAX

○所属(職業)

これらを明記の上、締切 2011 年 1 月 10 日までに FAX してください。

配布資料の関係で早めに。当日可。